

施工説明書

洗面室暖房機

SH-2A

販売店・工事店さま用

【注意】・本製品は、本体を壁面に取り付ける方式となっています。＜壁面取付型＞
・本製品は交流100Vとなっています。

1 安全のために必ずお守りください

- 取り付けの前に、この事項を必ずお読みになり、正しく安全に取り付けてください。
- この項に示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。

● 表示の意味は次のとおりになっています。

● 図記号の意味は次のとおりになっています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	⊘	「 禁 止 」	を表します
		⊘	「 分 解 禁 止 」	を表します
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	⊘	「 接 触 禁 止 」	を表します
		⚠	「 必 ず 行 っ っ 事 」	を表します
		⚡	「D種接地工事によるアース線を必ず接続すること」	を表します

■取付施工完了後、この項の注意事項が守られているか確認のうえ、試運転を行い異常がないか確認し、取扱説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様がいつでも見られる所に必ず保管するようお願いしてください。

⚠ 警告	
<p>⚠ 取付注意</p> <p>配線工事は関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。 (接続や固定が不完全な場合は、火災や漏電のおそれがあります)</p>	<p>⚠ 取付注意</p> <p>最大消費電力は約1500W、運転電流は15Aです。本機単独で20A以上の分岐回路に接続してください。また途中にスイッチを設けないでください。 (誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります)</p>
<p>⊘ 使用禁止</p> <p>スプレー缶等を本体の近くに置かないでください。 (爆発や火災の原因となります)</p>	<p>⚠ 取付注意</p> <p>電源ケーブルは確実に接続してください。 (不確実な接続をすると端子部が過熱し、火災の恐れがあります)</p>
<p>⚡ アース接続</p> <p>アースをD種接地工事に基づいて確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置してください。 (故障や漏電のときに感電する恐れがあります)</p>	<p>⊘ 分解禁止</p> <p>改造はしないでください。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしないでください。 (火災・感電・けがの原因となります。 修理はお買い上げの販売店または弊社へご相談ください)</p>
<p>⚠ 取付注意</p> <p>電源はコンセントから取らないでください。 (不確実な接続をすると端子部が過熱し、火災の恐れがあります)</p>	<p>⚠ 取付注意</p> <p>施工はこの施工説明書に従って確実に行なってください。 (感電、火災、水漏れの原因になります。 ※この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は商品の保証をしかねますのでご注意ください)</p>
<p>⊘ 使用禁止</p> <p>交流100V以外では使用しないでください。 (火災・感電の原因となります)</p>	
<p>⊘ 使用禁止</p> <p>電源線が傷んでいるときは使用しないでください。 (火災や感電の恐れがあります)</p>	

⚠ 注意	
<p>⊘ 使用禁止</p> <p>浴室などの湿気の多いところに設置しないでください。 (漏電し、製品が故障する恐れがあります)</p>	<p>⚠ 取付注意</p> <p>この洗面室暖房機の質量は約5.3kgあります。本体取付工事は充分強度が得られるよう、補強材等を使用し確実に行ってください。 (落下により、けがをする恐れがあります)</p>
<p>⚠ 取付注意</p> <p>電源ケーブルの接続は確実に行ってください。 (接続部が過熱して発火の恐れがあります)</p>	<p>⊘ 禁 止</p> <p>本体やリモコンを洗浄したり、雨ざらしにしないでください。 (火災や故障、感電の原因になります)</p>
<p>⚠ 取付注意</p> <p>部品の取り付けは確実に行ってください。 (落下により、けがをする恐れがあります)</p>	<p>⚠ 取付注意</p> <p>使用中や使用後しばらくは吹出口およびその周囲に触れないでください。 (やけどの原因になります)</p>
<p>⚠ 取付注意</p> <p>電源は専用回路とし、途中にスイッチを設けないでください。 (火災や故障の原因になります)</p>	
<p>⊘ 禁 止</p> <p>電源ケーブルを束ねたまま配線しないでください。 (発熱して火災になる恐れがあります)</p>	

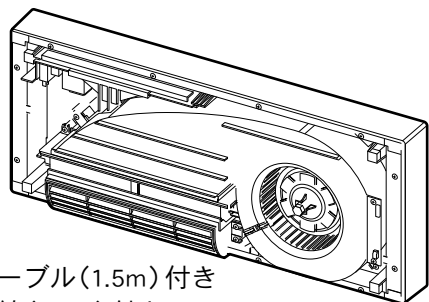
お願い

- この洗面室暖房機は、洗面室壁面取り付け専用です。天井などに取り付けることはできません。
- 次のような特殊な環境でのご使用は避けてください。温泉など腐食しやすいガスが出る場所、異常に高温になる場所などでの設置はしないでください。
- 本体を傾けて取り付けしないでください。ヒーターの寿命が短くなったり、故障の原因になります。
- 下記の場合は暖房の効果が十分に発揮できない場合があります。①洗面室の窓が大きいとき ②洗面室の容積が大きいとき ③その他、洗面室の密閉性や断熱性が悪いときなど
- 洗面室暖房機の温風吹き出し口をふさぐようなドア配置はやめてください。火災などの危険性があります。
- 洗面室暖房機の温風吹き出し口方向に化粧台キャビネットや洗面室用ランドリーパイプなどの障害物を配置しないでください。
- 有機溶剤やスプレーを使う場所の近くには取り付けしないでください。故障の原因になります。
- 電源は必ず分電盤の専用ブレーカーに接続してください。
- 温風吹き出し口および空気吸込口の前方10cm 未満の範囲内に造営材などを設けないでください。
- 機器本体は洗面室壁面に強固に取り付けてください。
- 地域により防災上の制限(火災予防条例にもとづく指導)が異なりますので、所轄の行政官庁または消防署へお問合せください。

2 各部の名称と寸法

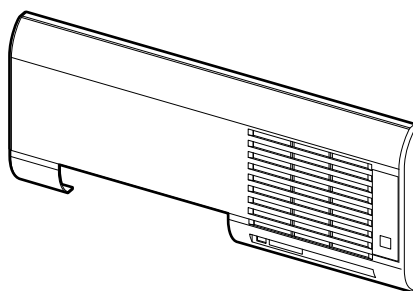
梱包内容 (1台あたり)

本体 1台

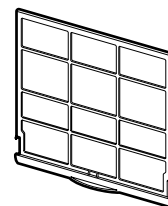


※電源ケーブル(1.5m)付き
 ※アース線(1.5m)付き
 ※SASコード(0.3m)付き

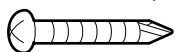
フロントパネル 1個



フィルター 1枚



+テクスねじ4×30 ……………4本
 (本体取付用)



+バインドタッピンねじ3×10 ……1本
 (フロントパネル取付用)



施工説明書 1枚 この施工説明書を表します。
 ※必ずお客様にお渡しください。

+バインドタッピンねじ4×12 ……4本
 (フロントパネル取付用)



ねじ穴カバー ……………4個
 (フロントパネル用)



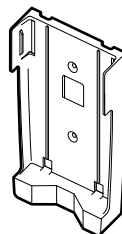
取扱説明書 1冊 ※必ずお客様にお渡しください。

リモコン部材 (リモコンは洗面室壁に取り付けるため建築側工事となります。大切に保管してください。)

リモコン 1個



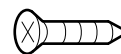
リモコンホルダー 1個



単4乾電池 2本



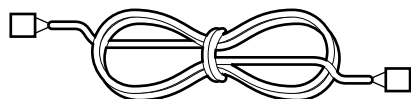
+皿タッピンねじ3×20 ……………2本
 (リモコンホルダー取付用)



別売部材 (オート暖房対応時)

連動コード (セット)

連動コード 3m



コードクランプ 1個



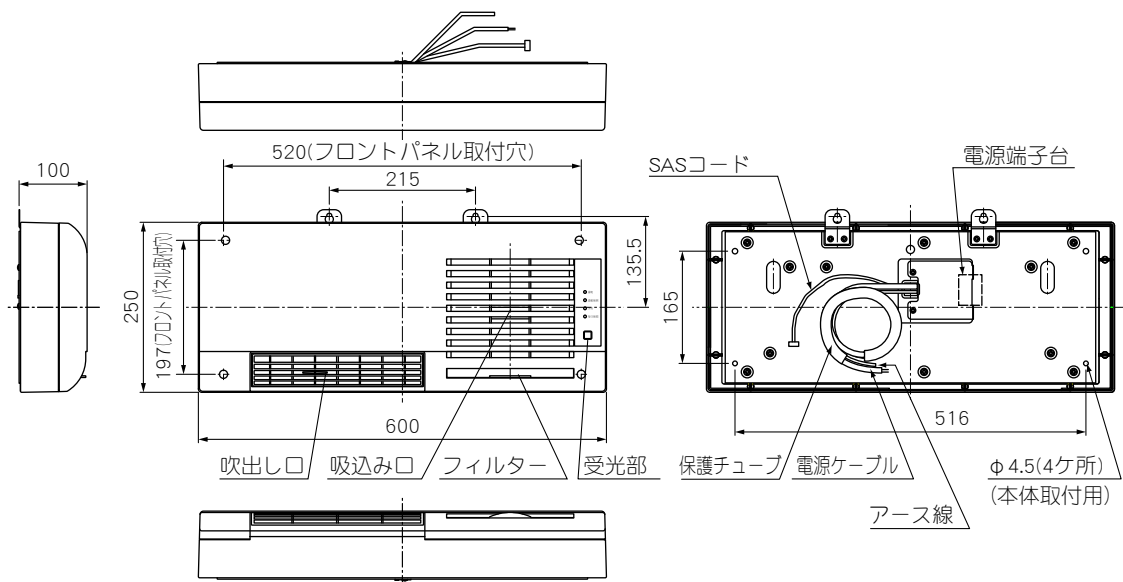
「連動コード接続と試運転について」
 1枚

2 各部の名称と寸法(続き)

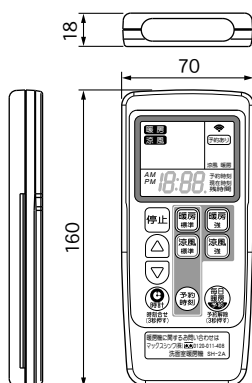
■本体外形寸法図

(単位：)

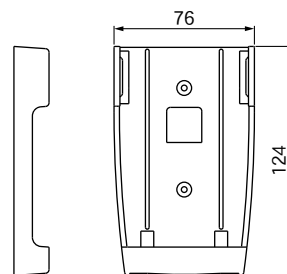
質量：5.3kg



■リモコン (単位：)



■リモコンホルダー (単位：)



3 本体取り付け前に

●オート暖房対応の場合

イラストのように天井取付時に連動コードの洗面室暖房機・接続側をドア上天井から約300mm突出した状態まで導き、躯体などに仮固定しておきます。

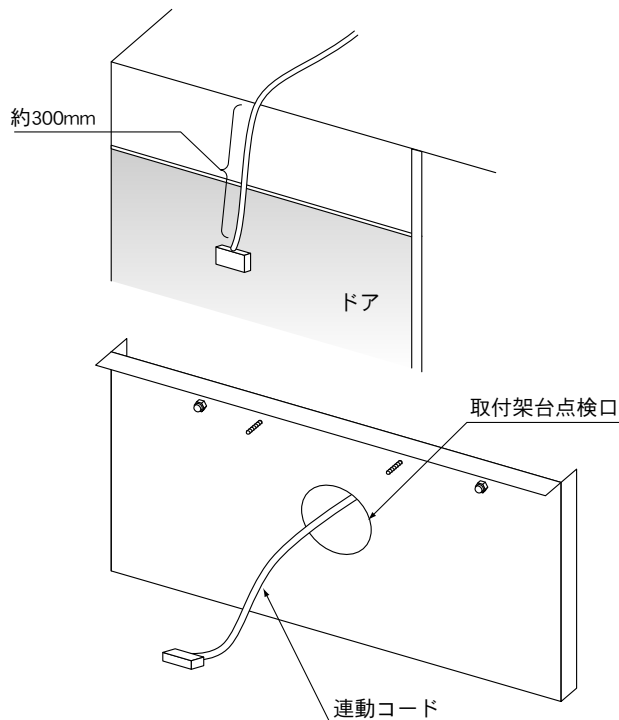
※連動コード(SH-2A-C(3M))は別途ご用意ください。

※建築壁取付の場合は電気工事業者様、設備工事業者様がわかりやすい様に連動コードをユニットバス点検口付近に置いてください。

取付架台施工後に取付架台点検口から連動コードを洗面室側に引き出してください。

●取付金具・取付架台の取り付け

「取付架台」部材に同梱されている「取付金具」「取付架台」の施工説明書を確認し、取付金具・架台を取り付けてください。



4-1 本体の取り付け (ユニットバスドア上の取付架台に取り付ける場合)

- ①取付架台から突き出ているM4の全ボルト(2ヶ所)に洗面室暖房機本体上部引っ掛け部を通し、取付架台に同梱されているM4チョウナット2個によって、暖房機が外れないように仮固定してください。
※取付架台付属のゴムシートは使用しません。

- ②洗面室暖房機本体の電源ケーブルやアース線などのコード類を取付架台点検口から、ユニットバス側へ押し込みます。

※オート暖房対応の場合

洗面室暖房機(SH-2A)背面のSASコードと連動コード(SH-2A-C(3M))を必ず接続してください。
連動コードの他端は換気乾燥暖房機用リモコンに接続します。電気工事業者がわかりやすいようにドア横に垂らしてください。

⚠ 注意



取付注意

コード類を洗面室暖房機本体や取付架台で挟み込まないように注意してください。

コード類がたるみによって挟み込まれそうな場合、ユニットバス点検口側からコード類を引いてください。このとき、コード類を傷つけないように注意してください

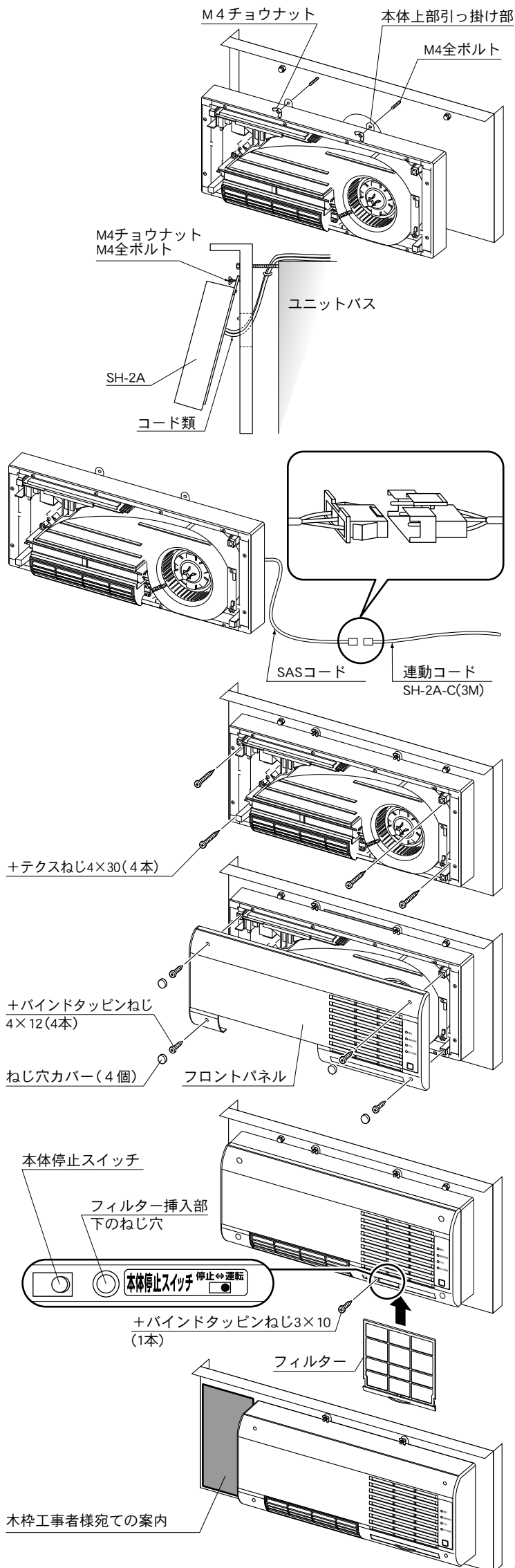
- ③M4 チョウナットを完全に締め、洗面室暖房機に付属の+テクスねじ4×30(本体取付用)4本で架台にしっかりと固定してください。

- ④フロントパネルを付属の+バインドタッピンねじ4×12(フロントパネル取付用)4本で洗面室暖房機本体に取り付けてください。
付属のねじ穴カバー4個をはめてください。

- ⑤フィルター挿入部下のねじ穴に付属の+バインドタッピンねじ3×10(フロントパネル取付用)1本を取り付けます。ねじ取り付け後、フィルターを取り付けてください。
※フィルター挿入部下の本体停止スイッチが運転(右側)に入っていることを確認してください。

●木枠工事業者様への連絡

全ての取付作業が終了した段階で、木枠工事業者様宛ての案内が取付架台の脇に張り付いていることを確認してください。
※中には取付架台をドア用木枠に固定する木ねじ、額縁取付ねじが入っています。はがしたり、紛失したりしないでください。



4-2 暖房機の取り付け (建築壁に取り付ける場合)

- ①右図の位置にφ85mm以上の穴をあけ、周囲を補強します。暖房機の質量は5.3kgです。取り付けられる強度を十分に持った補強を現場で手配してください。

※オート暖房対応の場合

ユニットバス点検口付近より連動コードの洗面室暖房機・接続側を開口部付近まで導いてください。開口部より連動コードを引き出してください。(約200mm)

⚠ 注意



取付注意

この開口部は電源コード等を壁のうら側に引き出すためのものです。開口部の切り口で電源ケーブルをきずつけないようにご注意ください。

- ②開口部の中心より上に約110mmの位置に、水平に開口部を中心に215mmの間隔で市販品の木ねじを仮止めしてください。

⚠ 注意



取付注意

木ねじを強く締め付けすぎないでください。

- ③木ねじ(2ヶ所)に洗面室暖房機上部引っ掛け部を通し、洗面室暖房機を壁に仮固定します。木ねじの頭と上部引っ掛けの穴が干渉しないよう、洗面室暖房機を少し持ち上げてからイラストのように引っ掛けてください。

- ④洗面室暖房機本体の電源ケーブルやアース線などのコード類を壁面開口部から、壁裏に向かって押し込みます。

※オート暖房対応の場合

洗面室暖房機(SH-2A)背面のSASコードと連動コード(SH-2A-C(3M))を必ず接続してください。

⚠ 注意



取付注意

コード類を押し込む際、暖房機を上を持ち上げないでください。暖房機が木ねじからはずれ落下する恐れがあります。

コード類を洗面室暖房機本体や壁で挟み込まないように注意してください。

コード類がたるみによって挟み込まれそうな場合、ユニットバス点検口側からコード類を引いてください。このとき、コード類を傷つけないように注意してください。

メンテナンス時、本体を外せるように配線は後から引き出せるようにしてください。

連動コードは電源ケーブルやアース線の近くの目に付きやすいところに配置してください。

- ⑤木ねじ4本(現場手配)で暖房機を壁に固定してください。

⚠ 注意



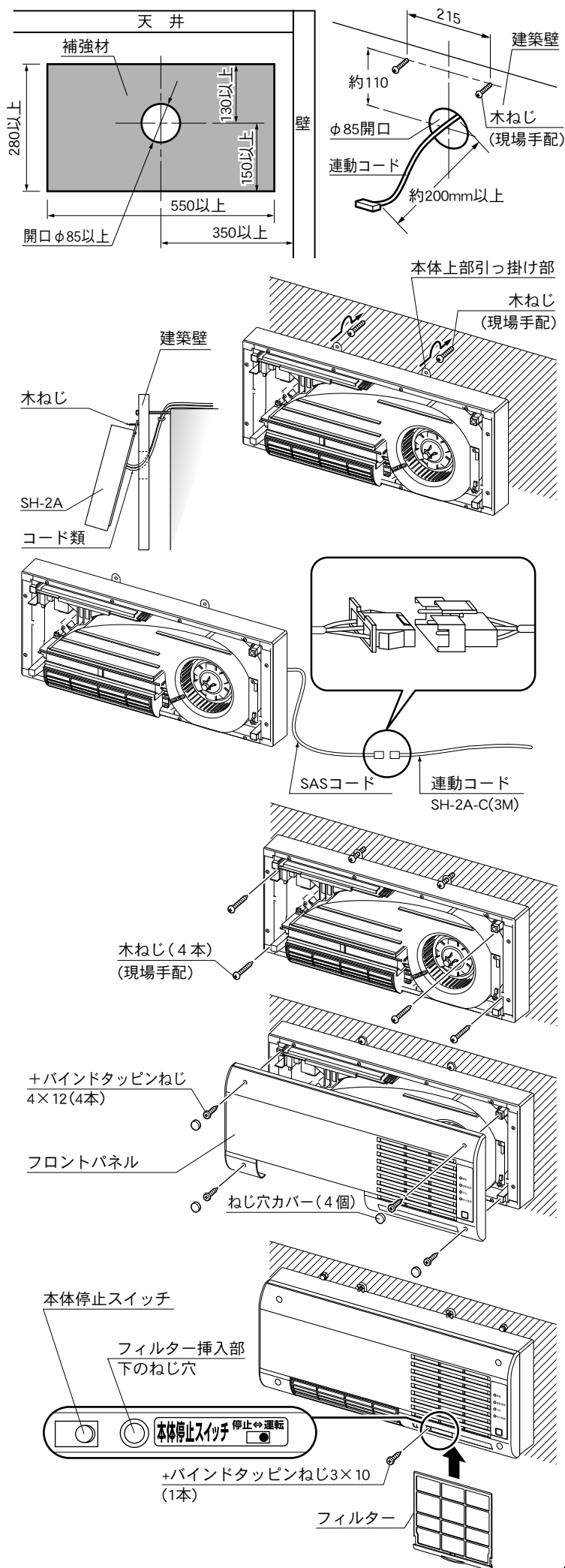
取付注意

上部引っ掛けの木ねじも完全に締めてください。振動や騒音の原因になります。

- ⑥フロントパネルを付属の+バインドタッピンねじ4×12(フロントパネル取付用)4本で洗面室暖房機本体に取り付けてください。付属のねじ穴カバー4個をはめてください。

- ⑦フィルター挿入部下のねじ穴に付属の+バインドタッピンねじ3×10(フロントパネル取付用)1本を取り付けます。ねじ取り付け後、フィルターを取り付けてください。

※フィルター挿入部下の本体停止スイッチが運転(右側)に入っていることを確認してください。



5 残りの部材について

- 電気業者様、設備業者様のために、この施工説明書とリモコン部材(2 梱包内容参照)をユニットバス内部の見やすい場所に置いてください。

以下、別途工事

警告

!	配線工事は関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。 (接続や固定が不完全な場合は、火災や漏電のおそれがあります)
	交流100Vを使用してください。 (直流を使用すると火災や感電の原因になります)
	最大消費電力は約1500W、運転電流は15Aです。本機単独で20A以上の分岐回路に接続してください。また途中にスイッチを設けないでください。 (誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります)
⚡	アースを確実に取り付け、漏電遮断器を設置してください。 (故障や漏電のときに感電するおそれがあります)

注意

⊘	電源ケーブルを束ねたまま配線しないでください。 発熱して火災になる恐れがあります。
!	リモコンは浴室の外に取り付けてください。 (湿気により感電するおそれがあります)

6 現場調達部材

- 配線用ケーブル(VVFケーブル単線φ1.6)
- アース棒
- アースケーブル(IVケーブル)
- ジョイントボックス

7 電気工事

警告

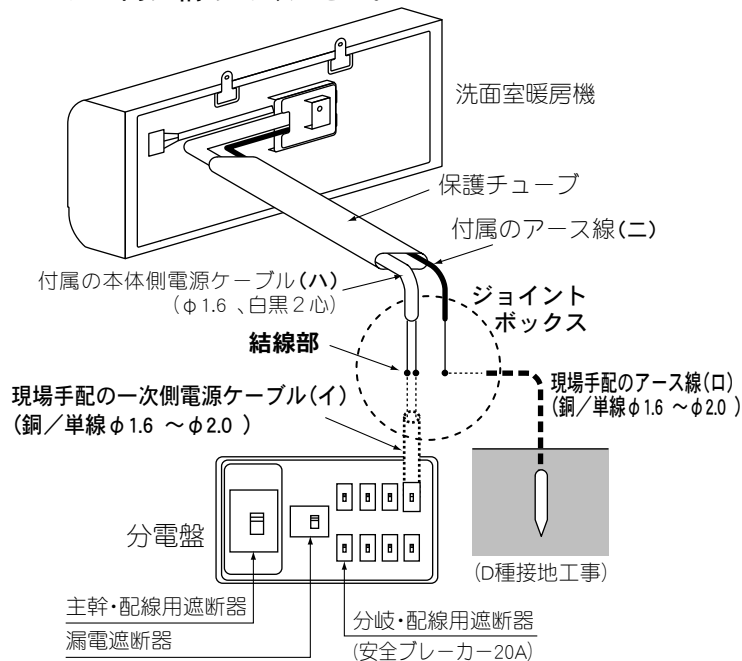


取付注意

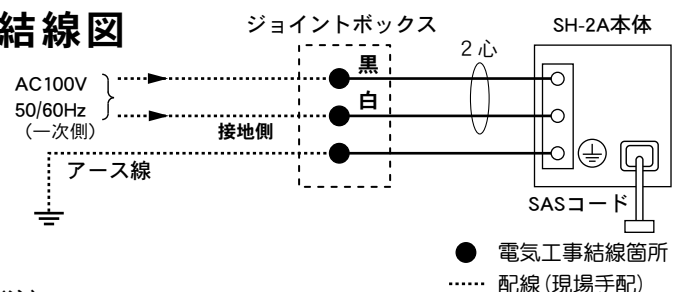
- 電気工事は関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
- 一次側にはAC100V以外はつながないでください。
- 本機は約1500W、運転電流は15A(温風)です。20A以上の専用の配線用遮断器(専用回路)を設けてください。
- D種接地工事に基づいたアース線を必ず本体に接続してください。水道管、ガス管などへは絶対にアース線を接続しないでください。
- 電力会社との契約電気容量が不足している場合は、追加工事を行ってください。
- 電気工事は必ず分電盤の洗面室暖房機のブレーカーを切って行ってください。

電気工事配線

- ①配線用遮断器(単相AC100V)までジョイントボックスを通じて結線してください。
本体側電源ケーブルの白線と、一次側電源ケーブルの接地側とを結線してください。
- ②アース端子またはアース棒までジョイントボックスを通じて結線してください。
※一次側の電源ケーブル(イ)、アース線(ロ)と本体側の電源ケーブル(ハ)、アース線(ニ)の結線部は必ずジョイントボックス内に納めてください。



結線図



- (注)
- ・ 本体側電源ケーブルの白線と、一次側電源ケーブルの接地側とを結線してください。
 - ・ SASコードはオート暖房に対応する場合に使用します。

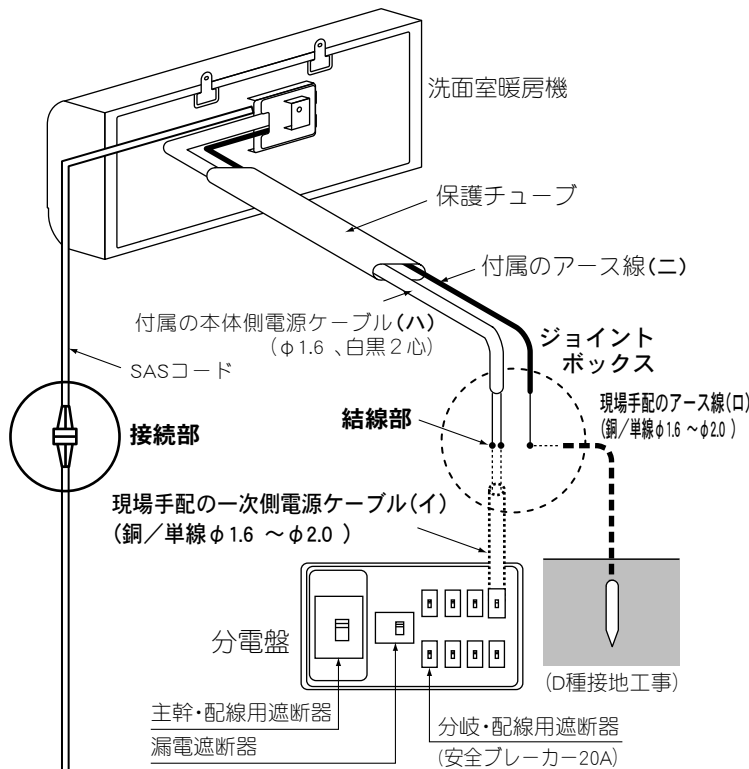
電源電圧に注意!!

- 注意
- ・ D種接地工事によるアース線を確実に接続してください。
 - ・ 指定電圧以外では使用しないでください。

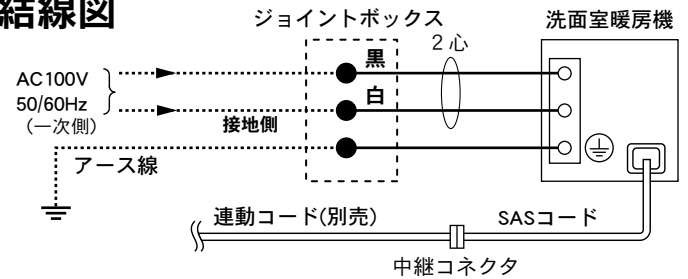
指定電圧 単相AC100V

オート暖房対応時の配線

- ①配線用遮断器 (単相AC100V) までジョイントボックスを通じて結線してください。
 本体側電源ケーブルの白線と、一次側電源ケーブルの接地側とを結線してください。
- ②アース端子またはアース棒までジョイントボックスを通じて結線してください。
 ※一次側の電源ケーブル(イ)、アース線(ロ)と本体側の電源ケーブル(ハ)、アース線(ニ)の結線部は必ずジョイントボックス内に納めてください。
- ③浴室換気乾燥機用リモコン裏面の連動コード差込コネクタと連動コード(別売品)を接続してください。
 ※詳細は連動コード(別売品)に付属してある施工説明書を参照してください。



結線図



- (注)
- 電気工事結線箇所 (Electrical work connection point)
 - 配線 (現場手配) (Wiring (on-site arrangement))
- ・本体側電源ケーブルの白線と、一次側電源ケーブルの接地側とを結線してください。
 - ・オート暖房に対応する場合には、SH-2Aが連動コードと接続されているか確認してください。

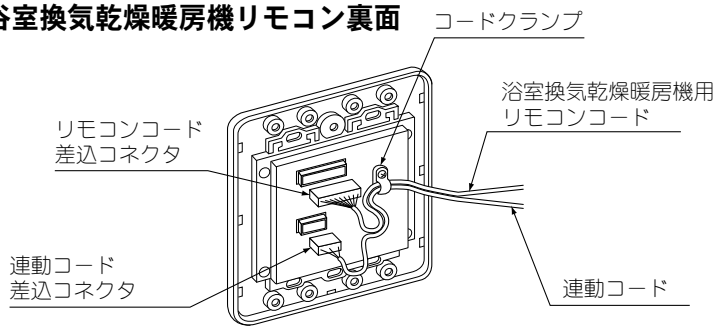
電源電圧に注意!!

- ⚠注意
- ・D種接地工事によるアース線を確実に接続してください。
 - ・指定電圧以外では使用しないでください。

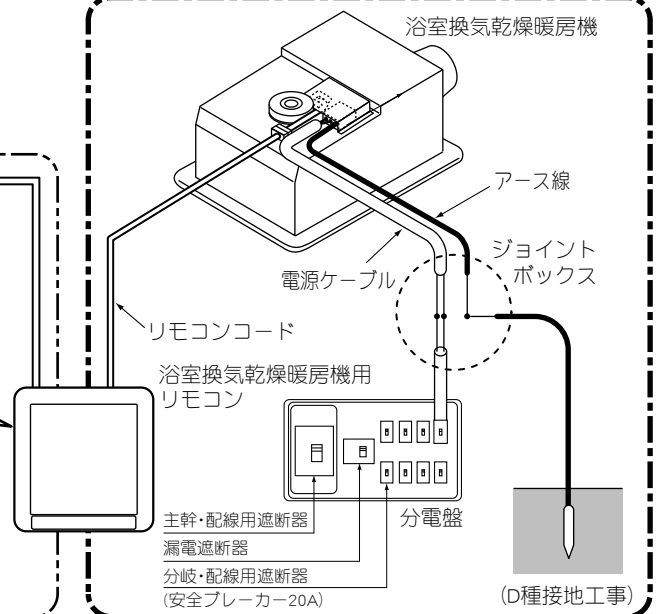
指定電圧 単相AC100V

連動コード(別売品)

浴室換気乾燥暖房機リモコン裏面



※この部分(---部)の施工は連動コード(別売品)に付属してある施工説明書を参照し、行ってください。



※この部分(---部)の施工は浴室換気乾燥暖房機に付属してある施工説明書を参照し、行ってください。

8 リモコンの取り付け

警告



取付注意

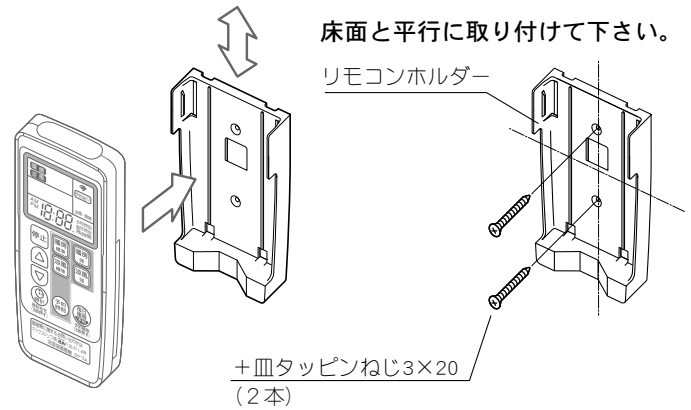
- リモコンホルダーはお客様と打ち合わせて、操作に便利な位置に取り付けてください。
- リモコンは洗面脱衣室など、必ず浴室外に取り付けてください。防水構造ではありませんので、浴室内には取り付けないでください。

リモコンの取り付け位置の選定

- リモコンの取付位置はお客様とご相談の上、決めてください。
- リモコンには約600mmのくさりがついています。万一落としても床にあたらぬ高さで、操作が無理なくできる位置に取り付けてください。

リモコンホルダーの取り付け

- リモコンのくさりが入るリモコンホルダーの裏面凹部に確実に入っているか確認してください。
- リモコンホルダーを+皿タッピンねじ3×20(リモコンホルダー取付用)2本で壁面に取り付けてください。
- 壁面など取り付け部が石膏ボードの場合は、中空ボード用アンカー(現地手配)を使用してください。



床面と平行に取り付けて下さい。

リモコンホルダー

+皿タッピンねじ3×20
(2本)

9 点検と試運転

点検

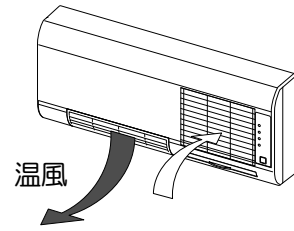
- ①本体とリモコンホルダー、リモコンが確実に取り付けられているか確認してください。
- ②単相AC100V用電源ケーブルが、分電盤より本体に結線されているか確認してください。
- ③アースが確実に取り付けられているか確認してください。
- ④最初の項目の「安全のために必ずお守りください」が守られているか、確認してください。

試運転

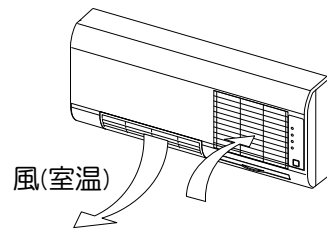
- 分電盤の洗面室暖房機専用ブレーカーを入れてください。本体の運転ランプが点滅します。
- リモコンに電池を入れ、停止ボタンを押してください。数秒後、本体から「ピッ」という着信音が鳴り、本体の運転ランプが消灯します。
- くわしい使用方法は取扱説明書を参照してください。

- (1) 暖房標準ボタンを押してください。
着信音が鳴り、運転ランプが点灯し、吹出し口から温風が出てくることを手で確認してください。リモコンには **暖房** 標準と、残時間が表示されます。
- (2) 暖房強ボタンを押してください。
着信音が鳴り、吹出し口から出る温風が強くなったことを確認してください。リモコンには **暖房** 強と、残時間が表示されます。
- (3) 涼風強ボタンを押してください。
着信音が鳴り、吹出し口から風(室温)が出てくることを手で確認してください。リモコンには **涼風** 強と、残時間が表示されます。
- (4) 涼風標準ボタンを押してください。
着信音が鳴り、吹出し口から出る風が弱くなったことを確認してください。リモコンには **涼風** 標準と、残時間が表示されます。
- (5) 停止ボタンを押してください。
着信音が鳴り、運転ランプが消灯し、本体が停止することを確認してください。
- (6) 暖房標準ボタンを押してください。
予約時刻ボタンを押してください。本体が停止することを確認してください。リモコンには(予約あり) **暖房** と、残時間が表示されます。
△▽ボタンを押して、時刻表示を運転を開始させたい時刻に合わせてください。時刻表示は10分単位で変わります。設定した時刻になったら、運転が開始されることを確認してください。
予約時刻を現在時刻に近い時刻で、仮に設定すれば短時間で確認できます。
作業後は必ず停止ボタンを押してください。予約状態では『毎日暖房』は使用できません。
- (7) 毎日暖房予約ボタンを押してください。
毎日暖房ランプが点灯し、リモコンには(予約あり) の点滅表示と、予約時刻が表示されます。
△▽ボタンを押して、時刻表示を運転を開始させたい時刻に合わせてください。時刻表示は10分単位で変わります。設定した時刻になったら、運転が開始されることを確認してください。入時刻を現在時刻に近い時刻で、仮に設定すれば短時間で確認できます。
- (8) 洗面室暖房機のブレーカーを切り、試運転を終了してください。
引き渡しまで期間があく場合は、試運転確認後、リモコンの電池を抜き、取扱説明書とともにお客様にお渡しください。

暖房強
暖房標準
毎日暖房



涼風強
涼風標準



発信部

予約モード表示

運転モード表示

暖房標準ボタン

時間表示

暖房強ボタン

停止ボタン

涼風強ボタン

時間設定ボタン

涼風標準ボタン

時計ボタン

毎日暖房予約ボタン

リモコンくさり

予約時刻ボタン

オート暖房対応時の確認
別売部材の連動コード(別売品)に付属の説明書を参照して、試運転を行ってください。

●取扱説明書の裏表紙の保証書に、販売店名、住所、電話番号、取付年月日を記入の上、この施工説明書と共にお客様に必ず保管していただくように依頼してください。



古紙配合率100%



●この印刷物は再生紙を使用しています。

●この印刷物は環境にやさしい植物性大豆油インキを使用しています。

国内：4003373000001

PPU-0512(05051)